

山形県経済動向月例報告

(平成 31 年 2 月の経済指標を中心として)

平成 31 年 4 月 18 日

本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。

個人消費は、力強さには欠けるものの、持ち直している。

鉱工業生産は、緩やかな増加傾向にあるが、このところ足踏みをしている。

雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。

目 次

	ページ
I 山形県の経済動向	1
II 全国の経済動向	3
III 東北の経済動向	3
IV 各種経済指標	
第 1-1 表 百貨店・スーパー（2 業態）販売額、6 業態合計販売額	4
第 1-2 表 コンビニエンスストア等 4 業態販売額	5
第 2 表 新車登録届出数	6
第 3 表 新設住宅着工戸数	7
第 4 表 鉱工業生産・在庫・出荷指数	8
第 5 表 山形県主要業種別生産指数	9
第 6 表 山形県主要業種別在庫指数	10
第 7 表 新規・有効求人倍率	11
第 8 表 賃金・労働時間・雇用指数	12
第 9 表 企業倒産	13
第 10 表 消費者物価指数	14
第 11 表 公共工事請負金額	15
(参考) 山形県その他の経済指標	16
全国その他の経済指標	17

利用上の注意

- ・ 山形県経済動向月例報告は、各種経済指標をもとに、本県経済の状況をまとめたものです。
- ・ 数字の単位未満は、原則として四捨五入しています。
- ・ 指標の中には速報値を使用しているものがあり、翌月に確定値に遡及して変更する場合があります。また、季節調整等により数値が改定される場合や公表数値が不定期に訂正される場合があります。
- ・ 各種経済指標は、官公庁、団体、会社等の業務資料及び当該機関の刊行した統計資料等によるものです。
- ・ この報告の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/>

(ホーム>目的でさがす>統計情報・オープンデータ>統計情報)

- ・ この報告の内容についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

山形県企画振興部統計企画課政策統計担当

TEL 023-630-2180 FAX 023-630-2185

先月との比較

	3月	判断の 変化方向※	4月
総括判断	本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。		(同じ)
個人消費	個人消費は、力強さには欠けるものの、持ち直している。		(同じ)
鉱工業生産	鉱工業生産は、緩やかな増加傾向にある。		鉱工業生産は、緩やかな増加傾向にあるが、 <u>このところ足踏みをしている。</u>
雇用情勢	雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。		(同じ)

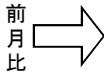
※矢印は基本的な傾向の変化を表しています。

I 山形県の経済動向

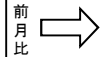
概況

本県経済は、緩やかな回復の動きがみられる。

判断の変化方向



判断の変化方向



◎ 個人消費 … 力強さには欠けるものの、持ち直している。

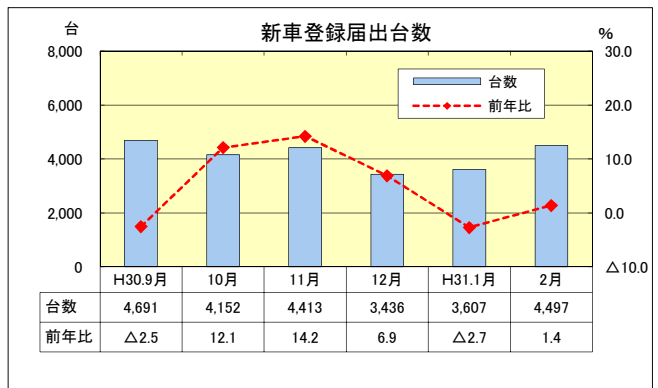
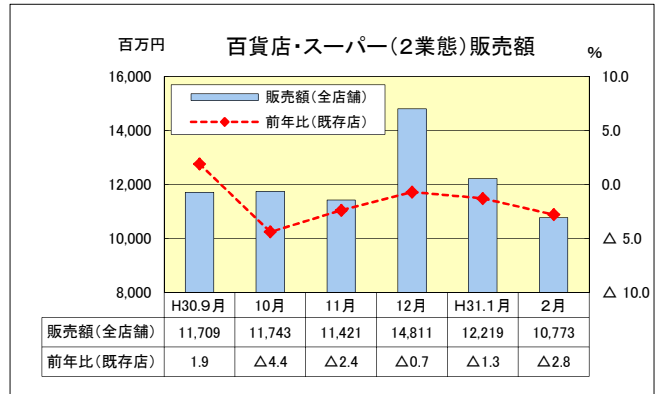
○百貨店・スーパー（2業態）販売額は、全店舗ベース、既存店ベースともに5か月連続で前年を下回った。
 コンビニエンスストア等4業態合計販売額は、9か月連続で前年を上回った。
 新車登録届出台数は、2か月ぶりに前年を上回った。

・百貨店・スーパー（2業態）販売額
 H31. 2月（全店舗） 10,773百万円
 前年比（全店舗）△1.4%
 （既存店）△2.8%

・コンビニエンスストア等4業態合計販売額
 H31. 2月（全店舗） 13,970百万円
 前年比（全店舗） 2.7%

（参考）6業態合計販売額は、2か月ぶりに前年を上回った。（第1-1表参照）
 H31. 2月販売額 24,743百万円

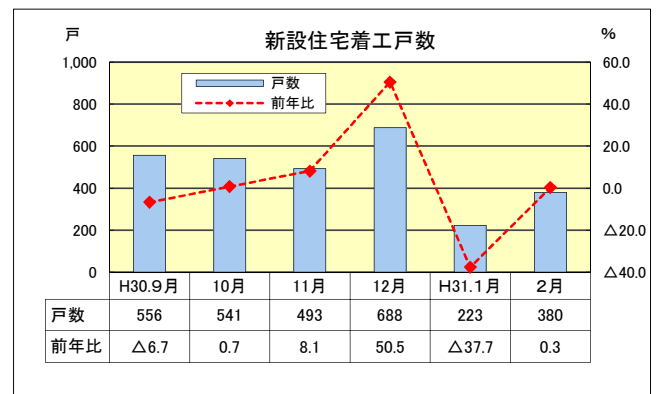
・乗用車(軽を含む)の新車登録届出台数
 H31. 2月 4,497台（前年比 1.4%）
 車種別
 普通乗用車 1,006台（前年比 △6.7%）
 小型乗用車 1,370台（前年比 0.8%）
 軽自動車 2,121台（前年比 6.1%）



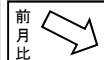
○住宅建設 … 前年の水準を上回った。

○住宅建設は、持家及び分譲住宅が増加したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を上回った。

・新設住宅着工戸数
 H31. 2月 総戸数 380戸（前年比 0.3%）
 利用関係別（主なもの）
 持家 176戸（前年比 10.0%）
 貸家 132戸（前年比 △19.0%）
 分譲住宅 72戸（前年比 30.9%）



判断の変化方向



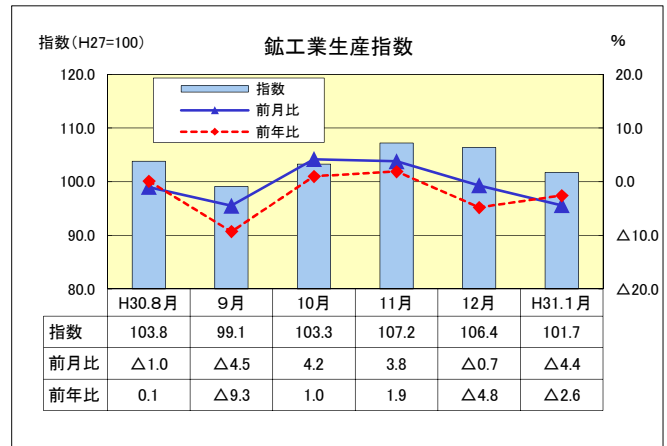
◎ 鉱工業生産 … 緩やかな増加傾向にあるが、このところ足踏みをしている。

○鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業や汎用・生産用・業務用機械工業などの生産が減少したことから、前月比で4.4%低下し、2か月連続の低下となった。
 また、前年比（原指数）では2.6%低下し、2か月連続で前年を下回った。

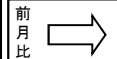
・鉱工業生産指数（H31. 1月）
 季節調整済指数 101.7（前月比 △4.4%）
 原指数 94.4（前年比 △2.6%）
 業種別（前月比）
 低下：化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業など11業種
 上昇：印刷業、その他製品工業など11業種

主な業種の生産指数

	前月比	前年比
電子部品・デバイス工業	96.6(△ 3.2%、△ 6.0%)	
汎用・生産用・業務用機械工業	115.4(△ 9.2%、 11.6%)	
食料品工業	100.9(0.3%、△ 2.6%)	
情報通信機械工業	88.2(△ 7.3%、△37.5%)	
輸送機械工業	109.2(△ 9.8%、 7.8%)	
化学工業	107.3(△22.2%、 9.7%)	
電気機械工業	95.0(△ 7.0%、△ 3.7%)	



判断の変化方向

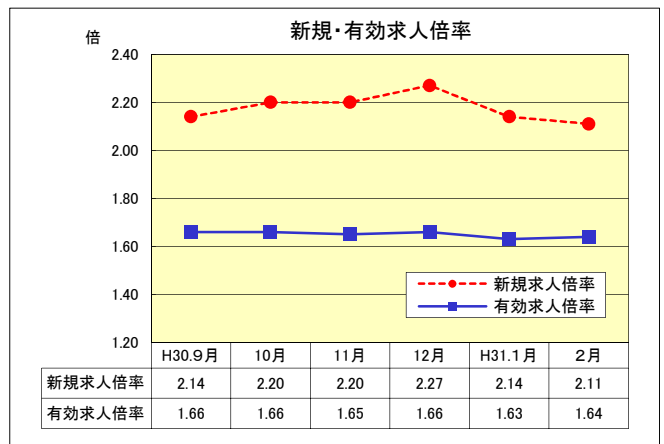


◎ 雇用情勢 … 着実に改善が進んでいる。

○有効求人倍率 (季節調整値) は、前月を0.01ポイント上回り1.64倍となった。

・雇用情勢 (H31. 2月)

有効求人倍率	1.64倍	(前月比 0.01 ^ポ)
〃 (正社員)	1.14倍	(前年比 0.12 ^ポ)
新規求人倍率	2.11倍	(前月比 △0.03 ^ポ)
雇用保険受給者数	2,928人	(前年比 4.7%)

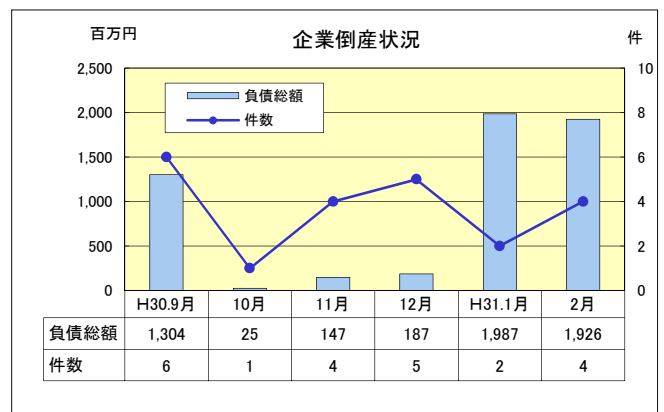


○ 企業倒産 … 件数は前年と同数となり、負債総額は前年を上回った。

○企業倒産は、件数は前年と同数となり、負債総額は前年を上回った。

・企業倒産状況

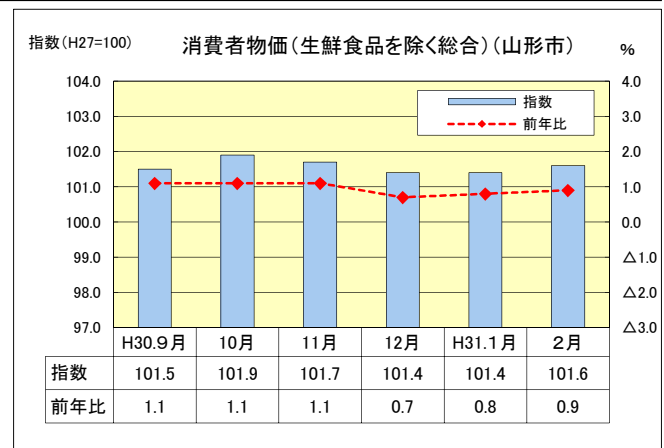
(H31. 2月、負債総額1千万円以上)	
件数	4件 (前年比 0.0%)
負債総額	19億2,600万円 (前年比 365.2%)



○ 物 価 … 前年の水準を上回った。

○消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合) は、前年の水準を上回った。

・消費者物価指数 (H31. 2月、山形市)	
総合指数	101.4 (前年比 0.3%、前月比 0.0%)
生鮮食品を除く総合指数	101.6 (前年比 0.9%、前月比 0.1%)
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数	101.1 (前年比 0.6%、前月比 0.0%)



(注) 前年比とは前年同月比のことである。

II 全国の経済動向（内閣府 月例経済報告 平成31年3月20日）

（我が国経済の基調判断）

景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、増加している。
- ・輸出は、このところ弱含んでいる。
- ・生産は、一部に弱さがみられ、おおむね横ばいとなっている。
- ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

III 東北の経済動向（東北経済産業局 管内の経済動向 平成31年3月13日）

一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている

鉱工業生産：足踏みをしている

個人消費：足踏み状態となっている

住宅着工：高水準の中、このところ弱含んでいる

公共投資：復興事業により高水準にあるが、このところ減少している

設備投資：持ち直している

雇用：改善している

企業倒産：小康状態が続いている